

令和6年度 第1回米子市図書館協議会・会議概要

- 日 時 令和6年5月31日（金） 午後3時から午後4時50分まで
- 場 所 米子市立図書館 研修室1、2（2階）
- 出席者 委 員
渡邊眞子（会長）、上村一也（副会長）、足立彰子、卜蔵久子、
野津寛美、金本由香、小原葉子、吉井美和子、原 篤成
事務局
（米子市立図書館）永瀬館長、（一財）米子市文化財団 佐藤図書課長
（米子市教育委員会）毛利生涯学習課長、松永生涯学習課担当課長補佐、
新見生涯学習課主任
- 欠席者 1名（八幡晋史）
- 傍聴者 1人
- 報道関係 なし

【協議会の概要】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事

（1） 令和5年度事業報告及び決算について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

- ア 図書館の利用状況
- イ 図書館の実施事業等
- ウ 職員研修実績
- エ 図書館費決算明細書

《委員質疑・意見》

- （委員）県立図書館との役割分担について、専門書は県立で、と聞いたことがあるが、米子市立図書館は西部地区で一番規模の大きい図書館なので、専門書にもある程度力を入れていただきたいと考えている。

⇒（事務局）

米子市立図書館の前身は鳥取県立米子図書館であったという歴史を継承して存在していることから、予算の問題はあるが専門書も充実を図っていききたいという気持ちはある。県内の図書館との相互貸借という仕組みも踏まえた上で、一般図書とのバランスも考えながら、一定の割合は専門書を設置するように考えている。専門書は閉架書庫や郷土資料室にも点在していることがあり、利用の際は司書にも相談していただければ。

- （委員）平日、市立図書館で子どもたちの声が聞こえないなということを感じている。働くお母さんが増えたことも関係していると思うので、例えば企業

とも連携して、企業の昼休みに司書さんが出向いて図書館について紹介することなどができないか。また、ブックスタートからセカンドブックに繋げるような試みがあるといいなと感じている。

○（委員）今回の協議会の資料は分かりやすく作っていただいている。

委員のみなさん心配しているとおり、少子高齢化が進む中、どのように対策をしていくかを考えていかなければならない。31年間、絵本の読み聞かせをしているが、最初の頃は5,60名が当たり前だったが、コロナ前で20名程度、最近では1桁程度となっている。その要因は何かと考え、子育て中のお母さん18名にインタビューしたところ、駐車場が非常に狭いので、大人一人では子どもを連れてこられないということだった。

保育園幼稚園に行かれる前のお母さんと子どもが、こういう公共施設に来て過ごし、育ててほしい。そのための手段をいろいろと作ってあげないといけないと思う。市立図書館のリニューアル時に、駐車場の図書館が一番近いところの植え込みを撤去してほしいとお願いした。そうすると、後ろがすぐ公園なので、簡単に子どもたちのベビーカーを出すことができる。

また、子どもに特化した行事が少ないこと。杉山亮さんと呼んだら100名を超える人が集まってきた。本の学校でもダーウィンが来たを監修されている鈴木まもるさんと呼んだら、100名を超える人が集まった。図書館に人が集まる材料を作ることも必要だと思う。子どもたちが育たないと米子市の将来どうなるか高齢者より子どもにお金を使う社会になっていかないと駄目だと思う。みなさんで意見や例を出して、こういうことができるんじゃないかと前向きに考えていく協議会にしていきたいと思う。

⇒（事務局）

委員さんから具体的な意見をいただけると、こちらもより具体的に検討することができる。まず考えることが重要だと思っているので、協議会に限らず、ぜひご意見をいただきたい。

有料駐車場の駐車スペースの件については、図書館に限らず意見が出ていると担当課から聞いている。進展があればみなさんにお伝えしたい。

子どもに特化した事業や子どもにお金を使っていくということは、少子化に対応していく上で必要なことと思っているので、意見をもらって具体的な事業化ができればいいと考えている。

（2） 令和6年度事業計画及び予算について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

ア 事業計画（運営方針・実現するための施策・主要事業等）

イ 図書館費予算明細書

《委員質疑・意見》

- （委員）今、月に1回中学校区単位で保健師が公民館に、子どもから高齢者までいろいろな相談を受けるために来られている。地域の子育てサークルの活動日に合わせていらっしゃる保健師もいる。できれば図書館から、子育てサークルや子育て支援センターへ出向いて、対面で保護者と出会い、図書館へ誘うということもできるのではないかと思います。

⇒（事務局）

子育て支援センターへの保健師の訪問は、職員の定員を増やして今の体制が出来ていることから、マンパワーが必要なことであるため、しょっちゅう訪問するということは難しい。ただ頻度は別にして、対面で何かをする仕組みを、いつ・どこでするのがよいか、考えてみるというのはありかなと考えている。

- （委員）探求学習の受け入れについて、図書館の役割も非常に大きくなるという気がしている。地域の課題解決の研究や、生徒自ら研究テーマを考え、情報収集して発表するというので、すごい取組が始まったんだと思った。市立図書館としてどのような取組をされているのか詳しく教えていただきたい。

⇒（事務局）

日本海ビジネス専門学校の場合は、将来目指している職業に関する資料を探しに来られ、それに対し職員が案内をしたというところ。

- （委員）11年来言い続けてきたWi-Fiの導入がされたこと、図書購入費を減らさず確保していただいたことに感謝したい。

図書館の中でどのようにインターネットを活用するのかという市民向けの講座を実施したら子どもから大人まで呼び込めると思うので検討してほしい。

⇒（事務局）

インターネットやスマホの活用については市の情報政策として担当課が講座を実施している。図書館も会場に開催してみてもという話はしてみたが、委託業者との契約内容にも関わるため、現時点でできるかはわからない。また、公民館でもスマホ講座を地域の特性に合わせてやっている。

図書購入費に関連するところでは、子どものための本の予算はしっかり確保していく方針が出ている。まずは学校図書を中心とした動きが検討されているところだが、具体的な内容が固まったら委員さんにも共有させていただきたいと思う。

- （委員）児童の登録者数が減ってきている要因が少子化によるものか、という報告もありましたが、それだけではないかなとも思っている。学校図書館の利用が減っているわけではない。学校図書館から市立図書館へ、生涯の読書習慣に繋がるとうまくいっていないのかなと思う。

小学2年生で図書館の見学をさせてもらうので、その後親子で来て利用者カードをつくるという流れができればベストだが、そうなるようになっていくよう

に学校現場の中でも市立図書館についてアピールするということも大事な
なと思う。

子どもたちは今、Chromebook を持って、インターネットの世界にも言
っているいろいろなことを得ているが、インターネットの世界に行き過ぎない
ように、紙媒体の大事さということにも触れさせながらやっている。

⇒ (事務局)

学校で本を読むことが減っているわけではないということを知っていて嬉し
い。そこからどう繋ぐかというのを学校でも手伝っていただけるというこ
とで、PR の協力など、具体的なお願いもしていければと思うのでよろし
くお願いしたい。

- (委員) スマホ教室など、公民館などで地域の若者を先生に、高齢者を対象にす
るという取組をしているが、中高生に声をかけてもらったら喜んで先生役
をしてくれるんじゃないかと思うので、企画を考えてほしい。

デジタルデバイドの対策は市の情報政策課が担当でやっているというこ
とだったが、図書館主体ということでは、紙の資料とデジタルの資料をど
ういう風に行ったり来たりしながら使いこなすのかという内容や、調べも
の教室ということが出来るんじゃないかと思う。

⇒ (事務局)

レファレンスの部分は図書館に来てもらえれば司書が対応しているが、
具体的にこうやって探しているというのを利用者に見てもらおうというのは
ありかなと思った。

子ども先生によるスマホ教室については、得意と得意が合わさると非常
に良い効果が出るなど実感している。今、公民館や自治会が一番欲してい
るのは、子どもたちが公民館でいろいろな活動をするということである。
そういう想いで、具体的な取組に向けて各地区で試行錯誤している状況。
また、市内全小中学校でコミュニティ・スクールが始まった今が一番いい
仕掛け時かなと考えており、今いただいた意見は学校とも足並みを揃え
て、地域にも反映していきたい。

- (委員) Wi-Fi を入れてほしいというのは図書館にみんなが集まるきっかけにな
れればと思ってのことで、それでデジタル媒体でどっぷり浸かるのではな
く、Wi-Fi を使って調べたことをきっかけにもっと詳しく知ってみたい、
そのために図書館の1階に下りて行って本を探して活字で見たいとい
う想いを親として持っている。脳科学の本でも、デジタル媒体で本を読ん
でも脳のある部分は動かないんだということが書いてあった。こういった
時代だからこそ図書館の意味はとても大きくて、たぶんお母さんたちも活
字離れされている状態、スマホで1日が終わってしまうということがある
んじゃないかと思うので、本の魅力というのを保護者として子どもたちに
伝えていけたらと思う。

(3) チラシの紹介

《事務局説明》

下記の内容について説明。

ア 図書館2階テラス飲食許可（試行）について

イ Wi-Fi 案内

ウ 短期講座「英語で楽しむ物語 ～O・ヘンリー短編集を読む～」

エ 令和6年度米子市立図書館文化講演会「源氏物語はおもしろい」

オ 友の会通信 定時総会・文化教養講座「生田長江 近代への葛藤と格闘」

カ よなぼん通信（便利な図書館情報） 年数回発行予定

キ ふるさと米子探検隊

ク ハートフルコーナーのご案内

(4) その他意見

- （委員）基礎データの説明はもう少し短くてよいと思う。この数値が気になるのでこういう対策をする、という具体的な話の方が聞きたい。

前回話に出たテラスの飲食やWi-Fiのことが、ホームページに次々出てくるので嬉しく感じている。

「子ども読書の日」も面白い取組で、これについてどんな取組でどんな成果があったということが聞けたらと思う。

「子ども図書館だより」を送っていただくが、もう少しサイズを大きくしてもらいたいというのと、両面印刷1枚だと掲示が出来ないので保護者の方にお見せするためにも、片面で送ってもらう方が助かる。児童文化センターの場合は、A3表面で貼れるように送ってくださっている。PDFデータでもらってもいい。

- （委員）学校図書館支援の米子方式は学校での子どもの読書支援の取組としてすぐ役立っているなので、これからもどんどん活用していきたい。

4 その他

《事務局連絡》

次回の協議会の開催は、令和7年1月を予定。

5 閉会